

# 闘春 2022

あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの感染者の減少とともに経済活動が再開され、人流も戻りつつあります。しかし日本経済全体の基調は「K字回復」と言われており、産業により回復のスピードに大きな差が出ています。特に交通・運輸、観光サービス産業では、回復は極めて緩やかであり、コロナ前への回復は厳しくなっています。その中で日々、安全・安定輸送のために奮闘している組合員の懸命の努力に敬意を表します。

昨年の「2021JR総連春闘」では、総じて「ベアゼロ」、JR東日本では「定期昇給を実施し、その際の昇級係数を2とする」とし、定期昇給に切り込むという非常に厳しい結果となりました。

現下のJR各社の多くは、通期の業績予測を下方修正し、昨年度に引き続き「赤字決算」見込んでいます。したがって「2022JR総連春闘」は、厳しい現実が待ち構えていると言わざるを得ません。JR総連は、情勢が厳しくとも「統一要求・統一闘争」を堅持し、組合員の労働実態と生活実態に踏まえ、ベア要求を掲げ、定昇の完全実施、総合労働条件改善を求めてたたかいます。

各単組が直面している「働き方改革」に対しては、安全、技術継承、人材育成などの視点で立ち向かいます。「安全・健康・ゆとり」を実現し、組合員の命と雇用を守るために議論を深めていきます。

労働組合に対し、企業権力を使った不当労働行為や人事権の濫用といった事態も後を絶ちません。昨年のJR東海労の仲間のたたかいを教訓に、会社の理不尽な姿勢に対しては、職場のたたかいを基礎に、断固として、正すためのたたかいを強化していきます。

第49回衆議院選挙では「JR総連推薦議員懇談会」のメンバーを13名拡大することができました。この成果を夏の参議院選挙につなげ、JR北海道、JR貨物の経営支援策の練り上げやJR総連の政策実現、労働諸法制改悪反対のたたかいへと結実させていきます。

憲法改正の議論が活発になっています。「日本維新の会」と「国民民主党」は改憲議論の加速に向け連携を確認しました。JR総連は、「9条連」に結集する仲間とともに「憲法9条を守る」ことを鮮明にして憲法改悪反対のためにたたかい続けます。

JR総連はたたかいの全過程を通じて、未加入者の組織化と組織強化を勝ち取るために、各単組と連携していきます。今年一年もJR総連の旗のもとに結集し、団結・連帯を強化し、厳しい現実を切り拓いていこうではありませんか！



全日本鉄道労働組合総連合会

執行委員長

山口

浩治

# JR総連加盟単組委員長 年頭所感

**「安全・くらし・平和の危機」の突破、  
安心社会実現のため奮闘する！**

北海道旅客鉄道労働組合

中央執行委員長 中川 憲一



新年明けましておめでとうございます。

JR総連に結集する組合員、ご家族の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年3月の法改正により、JR北海道に対する国の支援は、支援期限が10年間延長されたことにもとづき、2021年度から3年間の具体的支援が実施されています。現在、コロナの影響を見込み、「中期経営計画2023」の目標達成をめざすことができましたが、大幅な赤字計画であることに変わりなく、2024年度以降の支援については未定の状況です。

私たちは、「安全・健康・ゆとり」「利便性の維持・向上」を価値基準に施策を担うとともに、「経営自立」に必要な支援の実現と利用されるJR北海道グループを実現し、組合員・家族の幸せを実現しよう！を合い言葉に、組合員一丸となって取り組んでまいります。

岸田首相は、改憲勢力が2/3の議席を確保する中、専守防衛の転換をはかり、憲法9条改悪と緊急事態条項の創設で「戦争する国づくり」の総仕上げにむかっています。広がる労働者の分断は、このような政治情勢を生み出し、コロナ禍の「働き方改悪」「労働諸法制改悪」の攻勢に抗いきれずにいます。

このようなときこそ、2022JR総連春闘を連帯・共闘の力でたたかい抜いていこうではありませんか。私たちは、JR総連にすべての力を結集し、「安全・くらし・平和の危機」の突破、安心社会実現のため、向こう1年、皆さまと奮闘してまいります。共に頑張りましょう！

# 21春闘の総括を基礎に 組合員と共にたたかう！

東日本旅客鉄道労働組合

中央執行委員長 佐藤 英樹



JR総連に加盟する全ての組合員の皆さん、新年明けましてありがとうございます。

「現業機関における柔軟な働き方」の実現について」施策による「新たな働き方」は、JR東労組のみならず、JR総連加盟単組においても展開される施策であることを皆さんに提起させて頂き、認識の一致を図ることができました。

JR東日本における経営課題と、コロナ禍における社会の変化ということは受け止めつつも、「職名の廃止」などによって様々な業務を担う事になれば、鉄道業が総体的に素人集団になり兼ねない可能性があります。特に安全問題に対しては、JR各社で発生した事象と単組のたたかいや教訓に学びながら、原因究明の視点で職場から運動をつくり出します。

21春闘から期末手当要求実現にむけたたたかいは、総括議論を繰り返し行いながら、交渉団と職場におけるたたかいが一体となって要求実現にむかう重要性を学びました。期末手当は再申し入れを行い、最後までたたかってきましたが「会社が赤字にもかかわらずボーナスを出してくれてありがたい」などを主張する社友会メンバーもおり、私たちはこのような現実を突破しながら、具体的実践を積み重ねて組織の強化・拡大を実現します。

「変革2027」に貫かれていく施策の狙いは、JR東日本全体の組織再編にまで及ぶことが予想されます。職場体制や組織体制の変更で、効率的な業務になるはずが、一人ひとりの負担が増し、労働環境や生活環境が悪化することはあってはなりません。

JR東労組は、22春闘はもとより「安全・健康・ゆとり」を確保し、組合員と家族の利益を守るために、組織拡大にむけて奮闘する所存です。今年1年宜しくお願致します。

# 誰もが安心・安全に働き 暮らしていける社会をめざす！

JR東海労働組合

中央執行委員長 木下 和樹



JR総連に結集する全国の仲間の皆さん、明けましておめでとうございます。

JR東海労を代表しまして新年のご挨拶を申し上げます。本人の同意なき原則出向に反対するたたかいは、呈示された出向を撤回させたり出向先を変更させたり、さらには裁判闘争も活用しJR総連執行委員でもある淵上利和さんを、出向先職場からJR本体の職場に復帰させることができました。私たちの闘いに対する連帯と激励にあらためて感謝申し上げます。病気休職から復職と同時に出向先で勤務しJR東海労に加入した水野良則さんを、12月にJR本体に復帰させることができました。また、森下暢紀さん、松山文成さんはそれぞれ加入20年、10年の節目の年を迎え記念行事を開催してきたところです。

JR各社はコロナ禍で痛んだ経営を労働者へのしわ寄せで乗り切ろうと躍起になっています。JR東海では2年連続の通期赤字決算を予想しながら、リニア中央新幹線建設を「予定通り」に進めています。当面2022春闘をJR総連統一要求・統一闘争としてたたかい、大幅賃金引き上げと労働条件改善を勝ち取らなければなりません。誰もが平和な世の中で安心・安全に働き暮らしていける社会をめざして、JR東海労も微力ながら仲間の皆さんと共に奮闘し、たたかいは通じて組織拡大を勝ち取る決意です。相変わらずのご指導・ご鞭撻をお願いします。

最後に、各加盟単組の運動と組織の強化・発展と仲間の皆さんのご多幸をお祈りし、新年のご挨拶といたします。一年間よろしくお願致します。



「憲法9条」「平和と民主主義」  
そして「安全と労働条件」を守り抜く！

JR西日本労働組合

中央執行委員長 菅野 武男



新年あけましておめでとございます。  
コロナ禍になって約2年、経験した  
ことのない困難な状況のなか、大

変ご苦労様です。

昨年10月23日、大阪市内で「総団結を基礎に職場闘争を未来に継承し、組織の強化・拡大を実現しよう」JR西労結成30周年記念集会を開催しました。集会では職場での存在感を今以上に高め、組織拡大の実現と、JR西労の強化・発展をめざしていくことを改めて確認することができました。

組織破壊攻撃に抗して、結成30周年を迎えることができたのは、JR総連に結集する全国の仲間からの支援・激励があったからです。感謝を申し上げます。

昨年12月6日、岸田首相は衆院本会議で所信表明演説を行い、「新しい資本主義」「分配強化と持続可能な経済」「敵基地攻撃能力の検討と改憲意欲」等を明らかにしました。

岸田内閣は、安倍・菅政治を継承し、「専守防衛」を否定し「敵基地攻撃能力」の保持・強化・実行へと、日本を確実に戦争する国へと向かわせています。

私たちは、この危険な動向に対して、強い危機感を持つと同時に、憲法9条をはじめ、平和と民主主義、そして安全と労働条件を守り抜くための取り組みを強化します。

JR総連に結集するすべての仲間の皆様、本年もよろしくお願いたします。



JR総連と連携し、  
雇用と生活を守る！

日本貨物鉄道労働組合

中央執行委員長 高木 康之



JR総連に結集する仲間の皆さん。新年おめでとございます。

昨年コロナにより組合活動が大幅に制限されてしまいました。しかし労働組合は人と人のつながりであり、対面での活動が基本です。感染予防対策に注意をはかりつつ、少しずつコロナ以前の活動に戻しながら、組織強化・確立を目指していきたいと思っております。

この間安倍政権から菅政権、そして岸田政権とめまぐるしく政権が交代をしました。これに対し野党は第49回衆議院選挙で政権交代をめざしつつも、一体感が作り出せず弱者の期待に応える結果とはなりません。岸田政権は在絶対安定多数を背景に在任中の憲法改正をめざし、名実共に戦争する国を作り上げようとしています。一方で経済界は「新成長戦略」のもとに、新たな働き方改革やDXなどを通じて一層の効率化を推進すると共に、解雇の金銭解決を導入することで、労働者を切り捨てる社会をめざしています。

あわせて私たちJR貨物にとって重要な課題である、北海道新幹線札幌駅開業に伴う並行在来線の取り扱いは、バス転換など様々な情報が飛び交っています。鉄道貨物輸送の全国ネットワークの寸断は、雇用と生活に影響を及ぼしかねない大きな問題です。

いづれも政治が大きく関係しています。政治に無関心とならないために組合員と関わり、共に、JR総連としっかりと連携して、取り組んでいきたいと思っております。本年もよろしくお願いたします。

「安心で豊かな暮らし」と  
「働き甲斐のある職場」をめざして！

鉄道総合技術研究所労働組合

執行委員長 中村 竜



JR総連のみならず、新年明けましておめでとございます。

昨年鉄研労の活動に多くの御指導・御鞭撻を頂き、ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、鉄道を取り巻く環境は依然厳しい状況にあります。また、テレワークの普及など、働き方も急激に変化しました。これらの変化は、ポストコロナも継続するとみられており、労働組合としても新しい働き方の中で、労働者が安心して働くことのできる環境作りに向けた活動を進めていく必要があります。

鉄研労の今年度の運動の方針では、「安心で豊かな暮らし」と「働き甲斐のある職場」をめざすことを掲げております。これらの実現のためには、組合員の要望を的確かつ定量的に把握する必要があります。在宅勤務が併用される中で、組合員の声を直接聞く場はこれまで以上に重要です。そこで、昨年は組合員を世代ごとに区切った、意見交換会を実施しました。また、全組合員を対象とした意識調査や、女性組合員を対象とした「女性の働きやすさに関する調査」を実施しました。今後は、組合員の声をもとに、ポストコロナの働き方を見据えた環境改善要求へとつなげてまいります。

新型コロナウイルス感染症によって社会変容や行動変容があったものの、労働組合が果たす役割には変わりはありません。

今年も、微力ではありますが、鉄道の安全、発展そしてJR総連の活動に貢献できるよう努力していきたいと思っておりますので、皆さまのご支援をよろしくお願いたします。

# JR世代の労使による新たな 将来ビジョンの構築にむけて！

## 鉄道情報システム労働組合

執行委員長 高橋 岳志



新年あけましておめでとうございます。

今年も新型コロナウイルス(COVID-19)との果てなき闘いが続くなかでの年明けとなりました。

2021年は、コロナ禍での東京オリ・パラの開催や、経済復興に向けた動きに代表されるように、日本人の底力が発揮されたことが記憶に残る年だったのではないのでしょうか。

JRシステム会社の状況に目を転ずると、国鉄からの社員がゼロとなつて早2年、経営層にも多くのJR入社の世代が入る時代となり、全従業員数も事業規模(売上高)も会社発足当初から倍以上になり順調な発展が続いています。一方で、JR各社のみならず世の中は脱ハンコに代表されるような電子化、キャッシュレス化が進展するなかで、JRシステム社の主要事業の一つである「マルス端末」が姿を消す流れが加速し、今後の当社のビジョンを描くうえで、如何にJRシステムが存在意義を示していくことができるか、がJR世代の労使で知恵を出し合っていく喫緊の課題となっています。

新たな発想を生み出すためには、風通しの良い組織風土づくりや、育児・介護と仕事の両立ができる雇用環境が不可欠です。そのための一つの方策として在宅勤務を始めとした柔軟な働き方が考えられますが、この流れが、年功制度の破壊につながるような改悪の助走とならないよう、組合員と連携して取り組みを強化していく必要もあります。

この1年が我々労働者にとって夢と希望に溢れ、明るい将来を描ける年になるよう、JR総連の仲間たちと共に、微力ながらも精一杯運動を展開していきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします

# 新しい生活様式を踏まえ、 新たな職場改善をめざして！

## ホテル聚楽労働組合

執行委員長 斎藤 敏彰



組合員のみなさま、明けましておめでとうございます。

昨年1年を振り返ってみると、コロナの感染状況が収まらず、日々の感染者数に左右された1年間でした。年末年始の閑散とした状況に始まり、2桁止まりの宿泊者数の日々が多く、固定経費だけでも賄えるか心配される日が続きました。倒産や従業員の解雇が相次いでいる業界の中、会社の存続と雇用の維持を会社側と協議しながら、雇用調整助成金の活用を会社側と協賛しながら、雇用調整助成金の活用を推進しながら耐え忍んできました。春闘での基本給増額交渉では、組合員の負託に応えようと交渉に臨みましたが、休業補償の100%支給を評価し、厳しい経営状況を理解し、基本給増額は見送りとなりました。夏の冬の一時金交渉では、わずかな額でありましたが、勝ち取ることができました。

10月中旬からは県独自のキャンペーンの恩恵を受けて、徐々に客足は戻ってきましたが、業績の回復までには至っていません。国のGoToトラベル事業も、2月を目途に再開との報道もあり、期待が高まっていますが、キャンペーンが終了して以降の動向が懸念されます。また、集客の少ない日には社員教育をおこなったり、休みを与えるだけでなく、繁忙期や閑散期のメリハリを付けた勤務体制の構築が必要であると考えております。

私たち観光業界は、日々の状況に左右されることを、あらためてコロナ禍で思い知らされました。今年1年は組合員の雇用や健康を守るため奮闘していきます。そして、安定した生活を守るためにも、業績の回復にむけ、組合員からの更なる知恵を借りたいと考えています。

新しい生活様式が浸透してきた今、職場環境を再点検して働き甲斐ある職場をめざし、奮闘していきます。

# 日本労働組合総連合会(連合) — 新年挨拶 —

## 誰一人取り残されることのない 「働くことを軸とする安心社会」の 実現にむけて

## 日本労働組合総連合会

会長 芳野 友子



謹んで新春をお祝い申し上げます。昨年、一昨年と新型コロナウイルスの感染拡大に伴う未知の出来事の連続に、大変なご苦労・ご奮闘を続けてこられたと思います。心より敬意を表します。

今期の運動方針では、コロナ禍が浮き彫りにした諸課題に向き合い、新しい運動スタイルを構築しつつ、「すべての働く仲間をまもり、つなぐための集団的労使関係の追求と、社会に広がりのある運動」「安心社会とダイバーシティ・ワークをまもり、創り出す運動」および「ジェンダー平等をはじめとして、一人ひとりが尊重された『真の多様性』が根付く職場・社会の実現」などの推進を掲げています。

誰一人取り残されることのない、持続可能な包摂的な「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけて、「必ずそばにいる存在」として、すべての働く者の代表として、ともに着実に前に進んでまいりましょう。

本年も連合に対する一層のご支援をお願いするとともに、皆さまの益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。



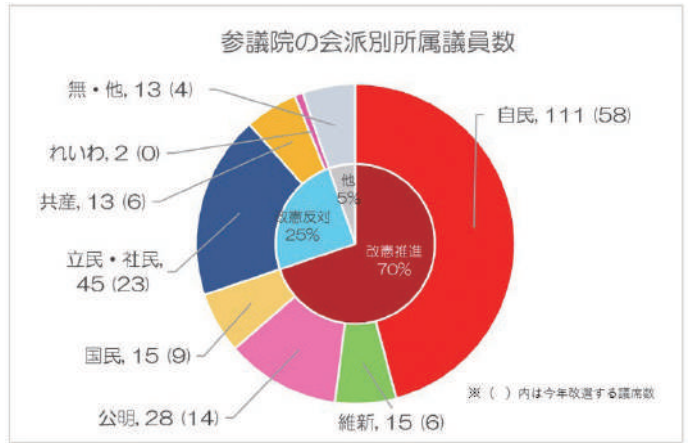
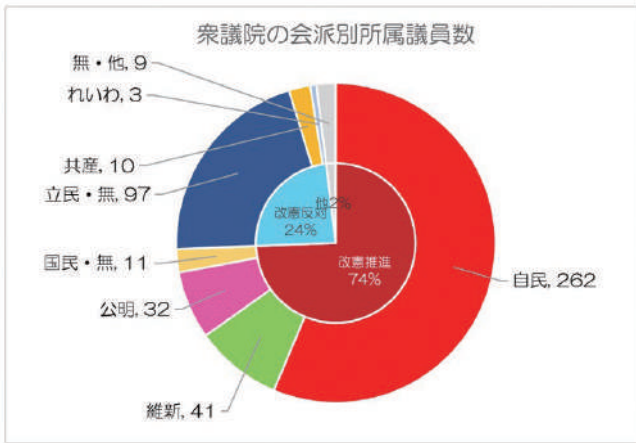


# 憲法改悪阻止! 「平和・人権・民主主義」を守るためにたたかおう!

## 改憲勢力「衆参両院で2/3以上占める」

昨年10月31日におこなわれた「第49回衆議院議員選挙」では、自民党が単独過半数を維持し、自民党と公明党で293議席を獲得し、絶対安定多数を許す結果となりました。さらに、改憲に積極的な日本維新の会が改選前の11議席から41議席へと大幅に議席を伸ばすなど、改憲勢力が憲法改正に必要な2/3以上の賛成を占める結果となりました（改憲推進・反対は、各社報道を基に記載しています）。

また、参議院でも改憲勢力が既に70%を占めており、衆議院・参議院それぞれで改憲に必要な総議員の2/3以上の議席を占めています。憲法改正原案が提出されれば、可決される可能性が極めて高く、国会の発議による「国民投票」がおこなわれることが予想されます。



(2021年12月15日現在)

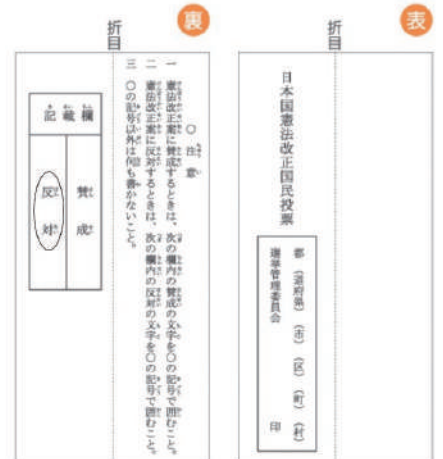
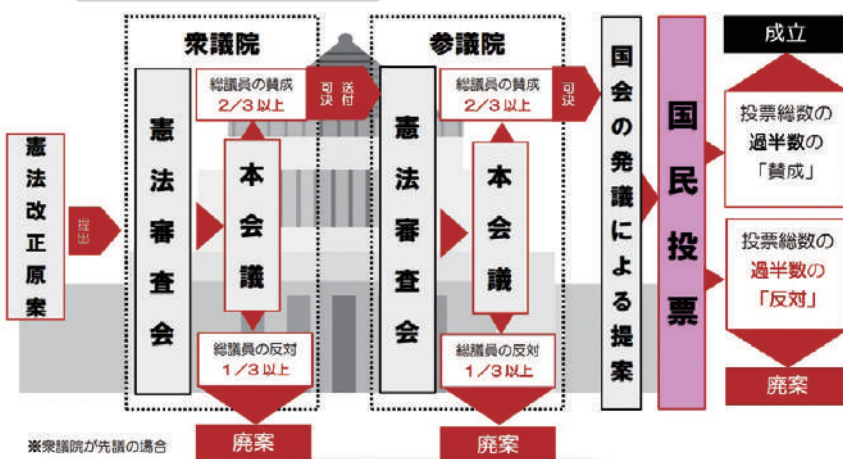
## 国民投票を見据えてたたかおう!

岸田首相は昨年の衆院選直後に「党是である憲法改正にむけ、精力的に取り組む。与野党の枠を超え2/3以上の賛成を得られるように議論を深める」と述べるなど、改憲への意欲を示しています。また、日本維新の会の松井代表は「(7月の)参院選までに改憲案を固め、参院選と同時に国民投票を実施すべきだ」と述べるなど、憲法改正にむけた動きが加速しています。

国民投票では、「賛成」「反対」のいずれかに「○」を付ける方法で投票がおこなわれ、投票総数の過半数が「反対」で廃案となります。ですから、いかに多くの有権者が「反対」に「○」を付けるかが重要です。

憲法9条を守り抜き、組合員と家族が平和で安心して暮らせる社会を実現するために、職場と地域から憲法改正の問題について議論を深めると共に、具体的に国民投票の実施を見据えて取り組みを進めていこうではありませんか。

### 憲法改正手続きの流れ



憲法改正国民投票の用紙

# 本年もよろしくお願いたします



1面写真：瀬戸内に昇る朝日（JR貨物労組 岡田孝信）

6面写真：本栖湖と富士（JR貨物労組 伊藤俊和）

あけまして  
おめでとーごぞいませ  
本年もよろしくお願申上げませ  
令和四年 元日

はたらくあなた  
の  
いちばんそばに。

「たすけあいの輪をむすぶ」  
こくみん共済 coop は、次のステージへ

こくみん共済	団体生命共済	住まいる共済
総合医療共済	せいめい共済	交通災害共済
マイカー共済	自賠責共済	新セット移行共済

こくみん共済 NEWS  
公式キャラクター  
ヒットくん

たすけあいの輪をむすぶ

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保険の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

こくみん共済〈全労済〉  
全国労働者共済生活協同組合会 coop

# 迎春

今年もよろしくお願いたします

鉄道ファミリーは組合と共に歩み  
皆様をしっかりとサポートします

- ▶自動車保険・火災保険・サークル保険
- ▶がん保険・医療保険・介護保険・給与サポート保険
- ▶JR積立年金
- ▶すみっこ商店・伊東さつき会館

JR総連・各単組賛助団体  
**(株)鉄道ファミリー**

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13 目黒むぎの  
電話 JR 058-4114・5 NTT 03-3490-3862